

兵庫県立西宮病院

地域医療連携室便り

2006年5月
第1号

地域医療連携室便りの発刊にあたり

病院長 藤本 高義

医学の進歩とともに医療機器の発達・開発はめざましいものがあります。また、急速に進む少子高齢化社会、疾病構造の変化、地域の人々の医療に対するニーズの多様化など、医療を取り巻く環境は大きく変化してきました。ここに至って、一つの医療機関での病気の治療を継続して行う自己完結型の医療が難しくなり、地域社会全体で考える地域完結型の医療が必要になってきました。地域における病院の機能分担や役割分担を明確にして、ネットワーク医療が推し進められており、基盤に病診連携が不可欠といった時代になりました。

病診連携という言葉が使われて久しくなりました。当院では、平成6年4月に、「地域医療の質的向上を図り、地域住民の健康増進・福祉に寄与すること」を目的に、西宮医師会と医療情報ネットワークを構築するために地域医療連携室を設置しました。その後、西宮市以外にも芦屋市、神戸市東灘区の各医師会とも病診連携を取り決めし、地域医療連携室でファックスによる患者紹介・検査受付を行ってきました。CT、MRI、RI、消化管造影検査に関しては、インターネットを介して地域の先生方の診察室から予約をとっていただけるようにもなりました。また、平成16年10月から西宮市内の病院・診療所間で患者の紹介・入院の受入が円滑に行えるように、「西宮市医師会医療連携システム」が発足し、当院は連携機関として、システムに参加する診療所と登録制を取っております。

現在、地域医療連携室の業務は、紹介患者の診療予約、検査予約、紹介患者の返書、退院患者の転院先（医療・福祉機関）の紹介、患者及び家族からの医療相談、クレームの対応等の多岐にわたっており、三木 均診療部長をはじめとして、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員のスタッフが一丸となって業務に取り組んでおり、地域医療機関と密接な連携に努めております。

当院の基本理念の「患者様の意向を尊重し、信頼される医療を実践します」のために、地域の病院・診療所と医療連携を図り、地域の中核病院として「急性期医療」を実践することこそ、地域住民ならびに地域医療機関から信頼される病院として期待されていることではないでしょうか。

今回「地域医療連携室便り」が発刊され、一層地域医療連携が促進されることを期待します。

《 部 門 紹 介 》

このコーナーでは各科の紹介をします。第1回目は内科です。

当院内科は進士名誉院長が赴任されてより「肝臓病の県西」として評価され、肝疾患については阪神地区の中心的な存在となっています。今もその伝統は引き継がれ、西川副院長を中心に肝疾患を中心とする消化器疾患の臨床、研究をさらに発展させています。その他循環器、神経内科、内分泌・代謝、血液疾患もそれぞれを専門とする医師を中心に診療を行っています。特に循環器疾患診療については本年度中に心臓カテーテル検査及び治療を行える設備を整備することになっており、来年度からはより充実した診療を提供できることと思います。また、当院では従来より腎移植が行われていましたが、今後は透析など内科的な治療も一貫して行えるよう腎疾患センターを設置する予定になっており、全ての段階の腎疾患に対応できるようになります。

現在のところ内科スタッフは常勤医、兵庫県独自の制度である専攻医（後期研修医）を含め16名です。それ以外に臨床研修医（前期研修医）8名のうち常時4名が内科をローテートしており、以前に比べ病棟にも活気が満ちています。今後とも地域の皆様に信頼される内科としていきたいと考えています。

【 内 科 ス タ ッ フ 】

西川正博（昭47年卒、副院長、肝臓）
三木 均（昭48年卒、診療部長、神経内科）
飯田正人（昭56年卒、内科部長、血液）
乾 由明（昭57年卒、地域連携部長、肝臓・消化器）
安永祐一（昭61年卒、内科部長、消化器）
富田晃司（平元年卒、内科医長、内分泌・代謝）
千森義浩（平4年卒、内科医長、循環器）
堅田龍生（平6年卒、内科医長、消化器）
松岡哲郎（平7年卒、内科医長、循環器）
松永一美（平8年卒、内科医長、血液）
藤井直彦（平10年卒、内科医長、腎臓）
松本由美（平12年卒、内科医長、消化器）
奥野綾子（平13年卒、内科医師、腎臓）
井上拓也（平14年卒、内科専攻医）
木津 崇（平15年卒、内科専攻医）
白石衣里（平15年卒、内科専攻医）

《 看 護 部 か ら 》

当院の外来では、「患者様の目線にあった接遇に心がけ、納得し安心できる看護を提供する」を目標に、ゆとりを持って対応するように努力しています。

診療が終わって帰宅される時は、「この病院を選んでよかった」と思っていただけのような日々努力しています。

県立西宮病院 診察表

平成18年4月3日

午 前							午 後							
診療科	曜日	月	火	水	木	金	診療科	曜日	月	火	水	木	金	
	内 科 (2220)	1 診	飯田 正人	西川 正博	三木 均	飯田 正人		西川 正博	内 科	5 診	藤井 直彦 〔腎〕		西川 正博 〔肝臓〕	白石 衣里
	2 診	安永 祐一	三木 均	乾 由明	富田 晃司	乾 由明		6 診	千森 義治 〔循環器〕	安永 祐一 〔消化器〕	飯田 正人 〔血液〕	三木 均 〔神経内科〕	富田 晃司 〔糖尿〕	
	3 診	野田 龍生	富田 晃司	安永 祐一	野田 龍生	藤井 直彦		心エコー				松岡 哲郎	千森 義治	
	4 診	松岡 哲郎	千森 義治	松永 一美	千森 義治	松岡 哲郎		小 児 科	〔心臓〕	〔健診〕 〔免疫〕	〔肝臓・予防〕	〔心臓〕 〔神経〕	〔腎臓〕 〔喘息〕 〔検診〕	
	5 診	木津 崇	井上 拓也	松本 由美	奥野 綾子	松永 一美		外 科	手術	〔乳腺〕 先田・吉田	手術	〔乳腺〕 先田	手術	
	腹部エコー	乾 由明 奥野 綾子 (隔週)	松永 一美 白石 衣里 飯田 正人	西川 正博 白石 衣里 乾 由明		富田 晃司 松本 由美 乾 由明		整形外科	手術	手術	(リハビリ診)	検査	手術	
小 児 科 (2310)	1 診	安部 治郎	安部 治郎	山本 勝輔	村井竜太郎	安部 治郎		産婦人科	1 診	飯島 隆史 ・予約診	中辻 友希 ・予約診	信永 敏克 ・予約診	米田 佳代 ・予約診	島津 美紀 ・予約診
	2 診	山本 勝輔	村井竜太郎	奥野 衣理	山本 勝輔	奥野 衣理			2 診	米田 佳代 ・予約診	島津 美紀 ・予約診	嶋原 完治 ・予約診	飯島 隆史 ・予約診	中辻 友希 ・予約診
外 科 (2330)	1 診	藤本 高義	蓮池 康徳	先田 功	藤本 高義	成井 力				検査	手術	手術	手術	検査
	2 診	林 伸泰	藤原 進一	吉田 哲也	辻江 正敏	堀池 成晃		産 婦 人 科	手術	手術	検査	手術	検査	
整形外科 (2340)	初 診	正田 悦朗	交代制	円山 茂樹	康 晴博	大内 聖士		耳 鼻 咽 喉 科	手術	検査	検査	手術	検査	
	再 診	大内 聖士	康 晴博	大内 聖士	正田 悦朗	円山 茂樹		放 射 線 科	〔血管造影〕	〔血管造影〕	〔血管造影〕			
	1 診	信永 敏克 ・初診	飯島 隆史 ・初診	交代制 ・初診	中辻 友希 ・初診	信永 敏克 ・初診		内 視 鏡 室		大腸内視鏡 大腸ポリペク		EIS/EVL	大腸内視鏡 大腸ポリペク	
産婦人科 (3216)		飯島 隆史 ・婦人科再診	中辻 友希 ・婦人科再診	信永 敏克 ・婦人科再診	米田 佳代 ・婦人科再診	島津 美紀 ・婦人科再診		脳 脊 髄 科	レントゲン 検査	手術	レントゲン 検査	手術	検査	
	2 診	米田 佳代 ・産科再診	島津 美紀 ・産科再診	嶋原 完治 ・産科再診	飯島 隆史 ・産科再診	中辻 友希 ・産科再診		脳 神 経 外 科				手術	検査	
理 科 (2350)	1 診	日井 審一	日井 審一	岩橋 佳子	御手洗慶一	岩橋 佳子		胸 部 外 科					寺町 政美 第1・3(13:30~)	
	2 診	御手洗慶一		日井 審一	交代制	御手洗慶一		救急医療センター (14:00~16:00)	酒野 公伸 081、3、5部 二宮 典久 (第2、4部)		杉野 達也		保坂 正昭	
耳鼻咽喉科 (2372)	1 診	田矢 直三	三谷 健二	田矢 直三	三谷 健二	田矢 直三								
	2 診					三谷 健二								
放射線科 (2380)	1 診			泉山 一隆 (初診)	泉山 一隆 (再診)									
	透 視	泉山 一隆	泉山 一隆			泉山 一隆								
内視鏡室		胃内視鏡	胃内視鏡 胃ポリペク		ERCP	胃内視鏡								
泌尿器科 (2210)	1 診	西村 憲二	市川 靖二	市川 靖二	吉岡 健	岸川 英史								
	2 診	岸川 英史 (再診)	藤井 直彦 (腎内・腎移植)	西村 憲二 (再診)	市川 靖二 (腎移植)	徳川 茂樹								
脳神経外科 (2230)		榊 孝之 山本 福子	榊 孝之	榊 孝之 山本 福子	手術	榊 孝之 山本 福子								
救急医療 センター (2320)	10:00 ~ 12:00													

藤井 直彦 医師 腎移植センター (内科) プロフィール

平成10年3月 大阪大学医学部医学科卒業
 平成10年5月 大阪大学医学部附属病院勤務
 平成11年6月 国立大阪南病院勤務
 平成14年4月 大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学入学
 平成18年3月 大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学卒業
 平成18年4月 兵庫県立西宮病院腎移植センター (内科) 勤務

受 診 案 内

①初診受付 午前8時30分から午前11時00分まで
 ②再診受付 午前8時00分から午前11時00分まで
 ③土曜・日曜及び祝日は休診
 ④内科健康診断(15歳以上、就職・進学)：月曜日～金曜日9:00～11:00
 ⑤小児科健康診断は、直接窓口で予約して下さい
 ⑥放射線科治療外来は水曜日・木曜日(初診は水曜日)
 ⑦泌尿器科(結石破砕)は入院予約制で、破砕は月・水・金曜日
 ⑧救急センターは再診患者の診察日(予約)
 ⑨[]内は専門外来(初診の患者様は受診できません。)
 ⑩小児科午後の診察は再診のみで予約制
 ⑪脳神経外科の火曜日の診察は紹介状持参、又は緊急の場合に限ります
 ⑫ので、あらかじめ医事課初診受付に申し出てください
 ⑬なお、緊急手術で診察が出来ない場合がありますので御了承願います

県立西宮病院地域医療連携室
 TEL 0798 (34) 5151 (代) 内線 3330
 FAX 0798 (34) 4436

兵庫県立西宮病院 紹介・診療情報提供書

平成 年 月 日
 地域医療連携室 TEL 0798-34-5151
 FAX 0798-34-4436

診療希望科 _____ 科	紹介医療機関名 及び医師名 _____	
希望医師名 _____ 医師	所在地 _____	
受診希望日 平成 年 月 日()	☎ () -	FAX () -
ふりがな _____	住所 ㊦ _____	
患者様氏名 _____	様 (男・女) _____	
M・T・S・H 年 月 日生 (歳)	☎ () -	
(この欄については、保険証のコピーを添付していただいても結構です。)		
保険者番号 _____	記号・番号 _____	(本人・家族)
公費負担者番号 _____	公費受給者番号 _____	
公費負担割合 _____ 〇割 ・ 1割 ・ 2割	負担上限額又は 一部負担金額	外来 円 入院 円
病 名 _____		
紹介目的 □精査・診断 □治療全般 □入院加療 □検査依頼 (具体検査内容)	既往歴及び家族歴	
県立西宮病院受診歴 (有・無) _____	年 月 頃	科を受診
主訴・現病歴・現症・検査所見・治療経過・現在の処方等		

放射線科へ検査を目的として紹介される場合撮影部位を○で囲み、検査の詳細を指示して下さい。		
頭部	胸部	腹部
詳細指示 [_____]		
アレルギー (造影剤を含む薬物、気管支喘息等) 有 (_____) ・ 無		
感染症の有無	HBV + -	HCV + - STS + -
レントゲンフィルム貸出	希望有 (_____) ・ 希望無	
レントゲンフィルムコピー	希望有 (_____) ・ 希望無	

現在看護部では、糖尿病教室・母親学級を行なっています。

糖尿病教室は、毎週月曜日13時30分から行なっており、医師・管理栄養士・薬剤師・検査技師・看護師が糖尿病について講義しています。

母親学級は、毎月第1～4水曜日14時～15時30分から行っており、妊娠中の保健衛生・福祉からお産の準備まで妊婦対象に行っています。

様々な活動を通して、今後も地域の患者様にとって満足していただけるよう努力していきたいと思っています。

《新規導入機器：MRIについて》

膀胱癌全身転移

DWI



骨シンチ



平成17年2月、当院に SIEMENS 社製 MRI 装置 MAGNETOM Avanto Squence を導入しました。Avanto は傾斜磁場性能がかつてないほど強力で、SNR の高い画像を短時間に撮像することが可能な装置です。また急性期の脳梗塞診断に広く使われてきた DWI (拡散強調イメージング) を全身に使用することも可能となりました。DWI は筋肉・血管・脂肪など体の多くの面積を占める部分の信号を抑制することで、多くの病変を描出することができる検査で、最近では FD-PET との比較をした文献が多く発表されておりその評価は高く、被ばくの無い全身癌検査として注目を浴びています。

【医師異動のご案内】

平成18年4月1日付 新規採用

診療部眼科部長	岩橋 佳子
// 耳鼻咽喉科医長	三谷 健二
// 内科医長	藤井 直彦
// 内科医師	奥野 綾子
// 泌尿器科 専攻医	有地 直子
// 整形外科 専攻医	康 暁博
// 内科 専攻医	白石 衣里

《地域医療連携室QあんどA》

Q：紹介した患者様が入院になりました。病室を訪問したいのですが？

A：いつも患者様をご紹介いただきましてありがとうございます。患者様が入院された場合には、ご遠慮なく訪床して下さるようお願い致します。平日の17時までに来院される場合には、まず医事課（新館1階）へお寄り下さい。連携医であることを示す名札をご用意していますので、着用して病棟のナースステーションへお越し下さい。

平日時間外や土日・祝日の場合には直接ナースステーションをお訪ね下さい。その際には医師であることを示すもの（医師会の会員証など）をご用意下さい。

いずれの場合にも事前にご連絡頂ければ、病棟・患者様へお伝えしておきます。また、ご希望の場合には担当医との面談についても可能な限り調節させていただきます。

《地域医療連携室よりのお知らせ》

地域医療連携室を窓口としての腹部エコーの予約が可能となりました。

従来はMRI、CT、RIシンチグラム、消化管透視、消化管内視鏡の依頼をお受けしてまいりましたが、地域の先生からの希望が多かった腹部エコーの検査についても、地域医療連携室を窓口としての予約を開始しました。予約日には、腹部エコー検査を行った後に専門医の診察をお受け頂き、即日結果報告をさせていただきます。検査依頼は通常の受診やその他の検査と同様、Faxをご利用下さい。

また、MRI、CT、RIシンチグラム、消化管透視につきましては、先生のお手持ちのコンピュータで放射線科のホームページを経由して直接予約することも可能です。但し、あらかじめID、パスワードの設定が必要ですので、ご希望の方は当院放射線科の山崎までお問い合わせ下さい。

【編集後記】

懸案の『地域医療連携室だより』をこのたび発刊できる運びとなりました。ご一読頂ければ幸いです。

おかげさまで昨年末現在、西宮市医師会医療連携システムにおいて89施設の医療機関から連携を希望して頂きました。このような多くの医療機関から期待されていることを知るにつけ、責任の重さに身の引き締まる思いを感じています。昨年はこれらの医療機関の先生方を中心に、広く阪神、及び近隣地域から多くの患者様を紹介下さり、また当院からの紹介患者様の多くをお引き受け下さり感謝申し上げます。

今年は診療報酬引き下げなど医療界にとって多難な年になりそうです。このような逆風の中、皆様との連携により地域から信頼される病院を目指してさらに努力したいと思っています。まだまだ至らぬ点が多いとは存じますがよろしく願いいたします。

地域医療連携部長 乾 由明

兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号
電話(0798)34-5151(代表) FAX(0798)23-4594(代表)
地域医療連携室直通 FAX(0798)34-4436